

令和4年12月9日

支部長様

福島県剣道連盟

会長 長谷川弘一

都道府県対抗剣道大会および東北・北海道大会
選手選考会の開催について

令和4年度各種大会の選考会を下記のように開催いたします。

なお、ただし、今後の感染状況によっては、なにかしらの条件・制限を課す場合もありますのでご注意ください。

記

- 1.申込方法 別紙申込用紙に記入の上、下記に支部で取りまとめの上、申し込んで下さい。
個人での申し込みは受け付けませんのでご注意ください。

〒960-0102 福島市鎌田字町 23 サラダハウス A101 福島県剣道連盟事務局 Tel・Fax 024(597)8218 e-mail yukiusagi.8218@fukukenren.jp

2.申込〆切

申込は令和5年2月9日(水)必着(メール・FAX可)
締切り後の申込みは受け付けませんのでご注意ください。

3.参加料 1000円(保険料込)

参加料については、当日受付でお支払いをお願いします。
予選会1週間前の辞退については参加料を徴収します。

- 4.種別毎に選考会を行います。先鋒の選考はありません。
本選考会は次鋒～大将の選考会といたします。

福島県剣道連盟 選手選考会 要項

1. 日 時

令和5年2月23日（祝・木）午前9時30分 開会

2. 会 場

福島市十六沼体育館 （〒960-0251 福島市大笹生俎板山3 4 1） 電話 024-558-6151

3. 出場選手資格

全日本都道府県対抗剣道大会の参加資格に準ずる。

- (1) 福島県剣道連盟の登録会員であって、全日本剣道連盟会員規則に適合している男女。
- (2) 年齢基準は、全国大会前日とする。
- (3) 職業資格・高校生および大学生の基準日は、全国大会当日とする。
- (4) 各都道府県で実施する予選会への出場は1カ所のみとする。ただし、大学生の場合、予選会へ出場できる都道府県は、大学生個人が登録している剣道連盟または出身高校のある剣道連盟のいずれか1ヶ所とする。

4. 試合方法 全日本剣道選手権大会に準じる。

- (1) 全日本剣道連盟試合・審判規則とその細則、および大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン（新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判方法）に記載の試合方法による。
- (2) 試合はトーナメント方式による。
- (3) 試合は3本勝負、試合時間は男子5分、女子4分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い、先に1本取ったものを勝ちとする。なお、延長に入ってから試合時間は3分区分切りで、延長3回で1回5分間の休憩を取り勝敗の決するまで継続する。

5. 剣道用具の取り扱いについて

本大会における、剣道用具の取り扱いについては、安全性・公平性の観点から以下のとおりとする。

- (1) 竹刀については次の事項を遵守すること。
 - 竹刀の長さ（全長・先革長）、重さ、太さ（先革先端対辺直径値および先端より8cmのちくとう部対角直径値）は、表1、表2および図のとおりとする。
 - ピース（四つ割り竹）の合わせに大きな隙間のあるものや安全性を著しく損なう加工、形状の変更したものの使用は認めない。
- (2) 小手については次の事項を遵守すること。
 - 小手は、こぶしと前腕（肘から手首の最長部）の1/2以上を保護し、安全性を保つため小手指頭部および小手ぶとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力がある。
 - 小手ぶとん部のえぐり（クリ）の深さについては小手ぶとん最長部と最短部の長さの差が2.5cm以内である。
- (3) 面については次の事項を遵守すること。

- 面ぶとんは安全性を保つため、肩関節を保護する長さがあり、十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。

(4) 剣道着については次の事項を遵守すること。

- 剣道着の袖は、安全性を保つため、肘関節を保護する長さを確保すること（構えたときに肘関節が隠れること）。

表1 竹刀の長さ、重さ、太さ

長さ（全長）	重さ	太さ 先端部最小直径	太さ ちくとう最小直径
120 センチメートル以下	510 グラム以上	26 ミリメートル以上	21 ミリメートル以上

表2 二刀の場合の竹刀の長さ、重さ、太さ

長さ（全長）	重さ	太さ 先端部最小直径	太さ ちくとう最小直径
114 センチメートル以	440 グラム以上	25 ミリメートル以上	20 ミリメートル以上
62 センチメートル以下	280～300 グラム以上	24 ミリメートル以上	19 ミリメートル以上



7. 安全管理及びコロナウイルス感染症の対策

- (1) 出場者は、各自十分健康管理に留意し本大会に出場すること。また、出場選手は健康保険証を持参のこと。
- (2) 試合実施中、傷害発生の場合は応急処置大会中の応急処置のみ実施する。他の責任は持たない。なお、主催者は大会中の出場選手の事故に対し、障害保険に加入する。
- (3) 試合者及び関係者は福島県剣道連盟の大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドラインを遵守し大会に参加すること。
- (4) 選手及び関係者は、健康状態を「**確認表**」（別紙様式1）に記載し大会当日に提出すること。出場選手は大会1週間前からの健康状態を行動内容を「**健康確認票**」（別紙様式2）に記載し大会当日、受付へ提出すること。発熱や症状を有する選手は試合への参加を不可とする。「健康記録表」を持参しない選手も同様とする。
- (5) 選手は鼻と口を確実に覆う面マスク着用(アップ・試合中)、マウスシールドを着用すること。
- (6) 手洗い義務を励行し、試合待機中の位置取り(選手間は1～2m離す)に注意し、大声での応援、指示は禁止する。

大会名	日時	場所
全日本都道府県剣道優勝大会	令和5年4月29日(祝)	大阪府大阪市
全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会	令和5年7月9日(日)	東京都千代田区
東北北海道対抗剣道大会	未定	

(別記) 競技種別および出場資格

I. 全日本都道府県対抗剣道優勝大会

種別	出場資格
先鋒	高校生
次鋒	大学生 高等専門学校生は4年生～5年生が出場できる。 申し込み時に高校3年生であっても、大会当日大学1年生であれば出場できる。
五将	18歳以上 35歳未満 警察職員・教職員・高校生・大学生を除く。 非常勤講師・大学研究生・大学院生・専門学校生・刑務官・自衛官は含まれる
中堅	教職員(年齢制限無し) 学校事務職員・教育委員会職員は含まれる。
三将	警察職員(年齢制限無し)
副将	35歳以上、警察職員・教職員を除く。 刑務官・自衛官は含まれる。
大将	50歳以上 剣道教士七段以上

II. 全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会

種別	出場資格
先鋒	高校生
次鋒	大学生 申し込み時に高校3年生であっても、大会当日大学1年生であれば出場できる。
五将	年齢 18歳以上 35歳未満 高校生・大学生を除く
中堅	30歳以上
三将	30歳以上
副将	40歳以上
大将	50歳以上

III 東北北海道大会 (書類送付時点では未定ですが、選考会は開催)

男子：五段以上 職業、年齢に制限はありません。

※ 選考会は段別(五段・六段・七段)で実施します。

女子：1名 ※年代分かり次第連絡 段位、職業の制限はありません。

福島県 選手選考会

全国都道府県対抗剣道大会予選

所属支部名	支部
種別	男子・女子
ふりがな 氏 名	
住 所 (居住地)	〒
電話番号 (携帯番号)	
生年月日 (歳)	昭和・平成 年 月 日 (歳)
職業 (勤務先)・学校名	
段 位	士 段

福島県 選手選考会

東北北海道剣道大会予選

所属支部名	支部
種別	男子・女子
ふりがな 氏 名	
住 所 (居住地)	〒
電話番号 (携帯番号)	
生年月日 (歳)	昭和・平成 年 月 日 (歳)
職業 (勤務先)・学校名	
段 位	士 段

審判主任	検査所責任者

剣道用具確認証

福島県剣道連盟会長 殿

本大会の出場にあたり、使用する用具について、「剣道試合・審判規則」および「大会要項」に即し、下記項目の確認いたしました。

日付： 年 月 日

選手氏名： _____ 印

記

- 1) 竹刀関連：検査本数：合計 _____ 本（大会検査所提出本数）→合格 _____ 本
- 竹刀の長さ（全長）が適正
 - 竹刀の重さが適正
 - 竹刀の先革先端部の太さ（対辺）が適正
 - 先から8センチメートル部分のちくとう部の太さ（対角）が適正
 - 先端部をちくとうの最も細い部分とし、先端から物打に向かってちくとうが太くなっている
 - 先革の長さが適正
 - 中結の位置（＝全長の約1/4）が適正
 - 各ピース（竹）の間隙がない
 - 破損・ささくれはない
 - 不当な付属品を使用していない
 - 安全性を著しく損なう加工・形状変更をしていない
 - 柄革に名前の記入、若しくは押印のあるもの
- 2) 小手関連
- こぶしと前腕（肘関節から手首関節の尺骨側（最長部））の1/2以上を保護している
 - 小手ぶとん部のえぐり（クリ）の深さは小手ぶとん部最長部と最短部の差が2.5センチメートル以内である
 - 小手頭部・小手ぶとん部の十分な衝撃緩衝能力がある
- 3) 面関連
- 肩関節の保護ができる布団の長さが確保されている
 - 面ぶとんの十分な衝撃緩衝能力がある
- 4) 剣道着関連
- 袖の長さについて、肘関節の保護ができる（構えたときに肘関節が隠れること）

以上

確認票

□日 時 令和 年 月 日 () □場 所

□氏 名

□住 所

□所 属

□連絡先 (電話番号)

□本日の体温

□ 1週間前から下記の症状等ありましたか？

- | | | |
|---|----|----|
| □平熱を超える発熱 (おおむね37度5分以上) | あり | なし |
| □咳 (せき)、のどの痛みなど風邪の症状 | あり | なし |
| □だるさ (倦怠感)、息苦しさ (呼吸困難) | あり | なし |
| □嗅覚や味覚の異常 | あり | なし |
| □体が重く感じる、疲れやすい等 | あり | なし |
| □新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無 | あり | なし |
| □同居親族や身近な知人に感染が疑われる方がいる | あり | なし |
| □過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触 | あり | なし |

※ 確認表は1か月保管した上で、責任を持って処分します。